

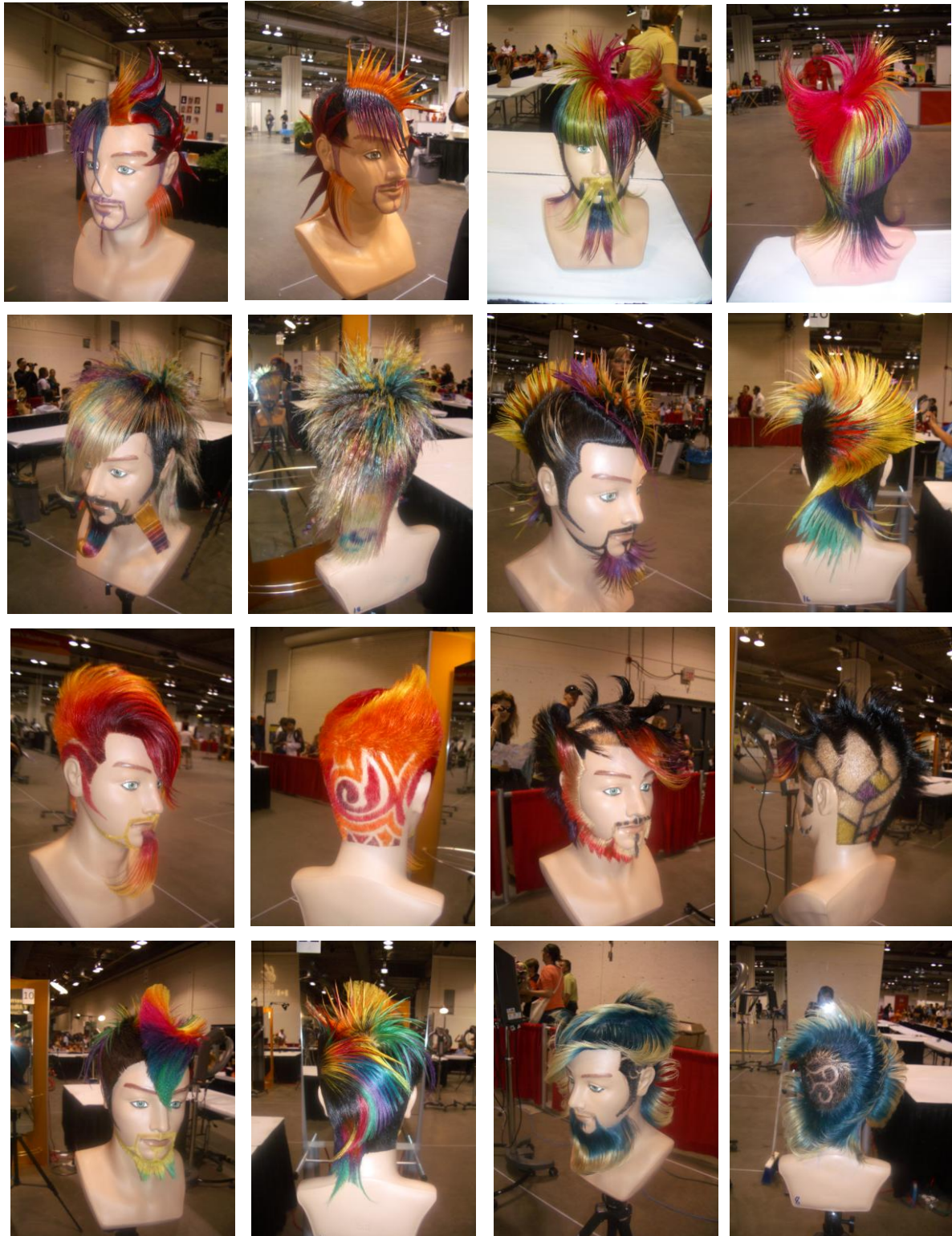
参考資料 1

「競技課題 1 アバンギャルドヘアカット&カラー」

「競技課題 3 ファッションヘアカット&カラー」 参考作品

第 51 回大会より、競技課題が国際大会の課題に順ずるものに大幅に変更されました。課題解釈の参考に、第 40 回技能五輪国際大会（2009 年・カルガリー）での作品を数点示します。
 ※これらの作品は模範作品ではなく参考例であり、推奨するものではありません。

◆競技課題 1 アバンギャルドヘアカット&カラー参考作品



◆競技課題3 ファッションヘアカット&カラー



※「競技課題2 ファッションパーマメントウェーブ&カット (写真解釈)」、「競技課題4 クラシカルヘア&ブロードライ」は創作競技ではないため、参考作品は示しません。

参考資料₂

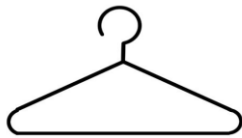
全競技課題共通 簡単なウィッグのボディーの作成方法

日本の競技大会において、ボディーの装着というのはいはあまり馴染みのないものですが、技能五輪国際大会やOMC主催の各種国際大会の舞台では必須です。

ボディーの装着はあなたの作品を競技委員や一般の見学者によりアピールするためのものです。華やかな大会になることを期待しています。

作成手順（下記の方法とは別に、国家試験用のショルダーを使用しても構いません）

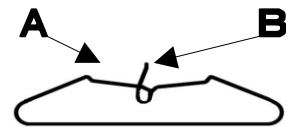
①針金ハンガー（針金にビニールを被せてあるもの）を用意します。



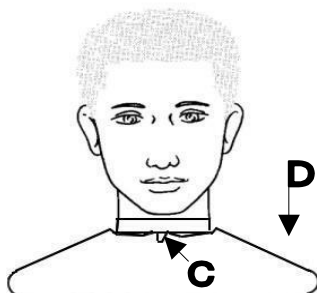
②引っ掛ける部分を反対向きに曲げます。



③Aのように、ウィッグの下のキャップに合うように平らにし、Bの引っ掛ける部分を少し矯正しウィッグの下の穴に入りやすくします。



④Cにクランプとハンガーをいっしょに差し込むことにより、しっかりと固定されます。Dの肩の部分にパットを着けたり、針金等で厚みを出したりすると、衣裳を着せた際、より自然に見えます。また、ウィッグの場合、首が人間より細いので、安全ピンなどでシャツをとめると良いでしょう。



ダンボールを使用しても構いませんし、独自に工夫して作ってみてください。衣裳もジャケットを着せたりタイを変えたりし作品イメージと合わせて、トータルで表現してください。

(参考例)

